

2010年12月期(第32期) 第2四半期決算説明資料

2010年8月6日

① 株式会社 小田原エンジニアリング

2010年12月期第2四半期(累計)業績概要(1)

<経済の動向>

- ① 我が国経済は、景気回復の兆しが見られた
海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に
 - ・輸出の緩やかな増加
 - ・企業収益の改善
 - ・設備投資の下げ止まり
 - ・雇用情勢には厳しさが残る

- ② 世界経済は依然として不透明な状況
 - ・アメリカ・ヨーロッパを中心とした景気の下振れ懸念
 - ・金融資本市場の変動やデフレの影響
 - ・雇用情勢の悪化懸念

2010年12月期第2四半期(累計)業績概要(2)

<ODAWARAグループの活動>

① 国内外で積極的な営業活動を展開

- ・中国の旺盛な設備投資需要に対応
- ・省エネ化・環境関連設備需要にも対応

② 受注環境・生産活動ともに回復基調で推移

- ・受注高 2,806百万円(前年同期比246.9%増)
- ・受注残高 2,880百万円(前年同期比116.8%増)
- ・生産高 2,379百万円(前年同期比107.8%増)

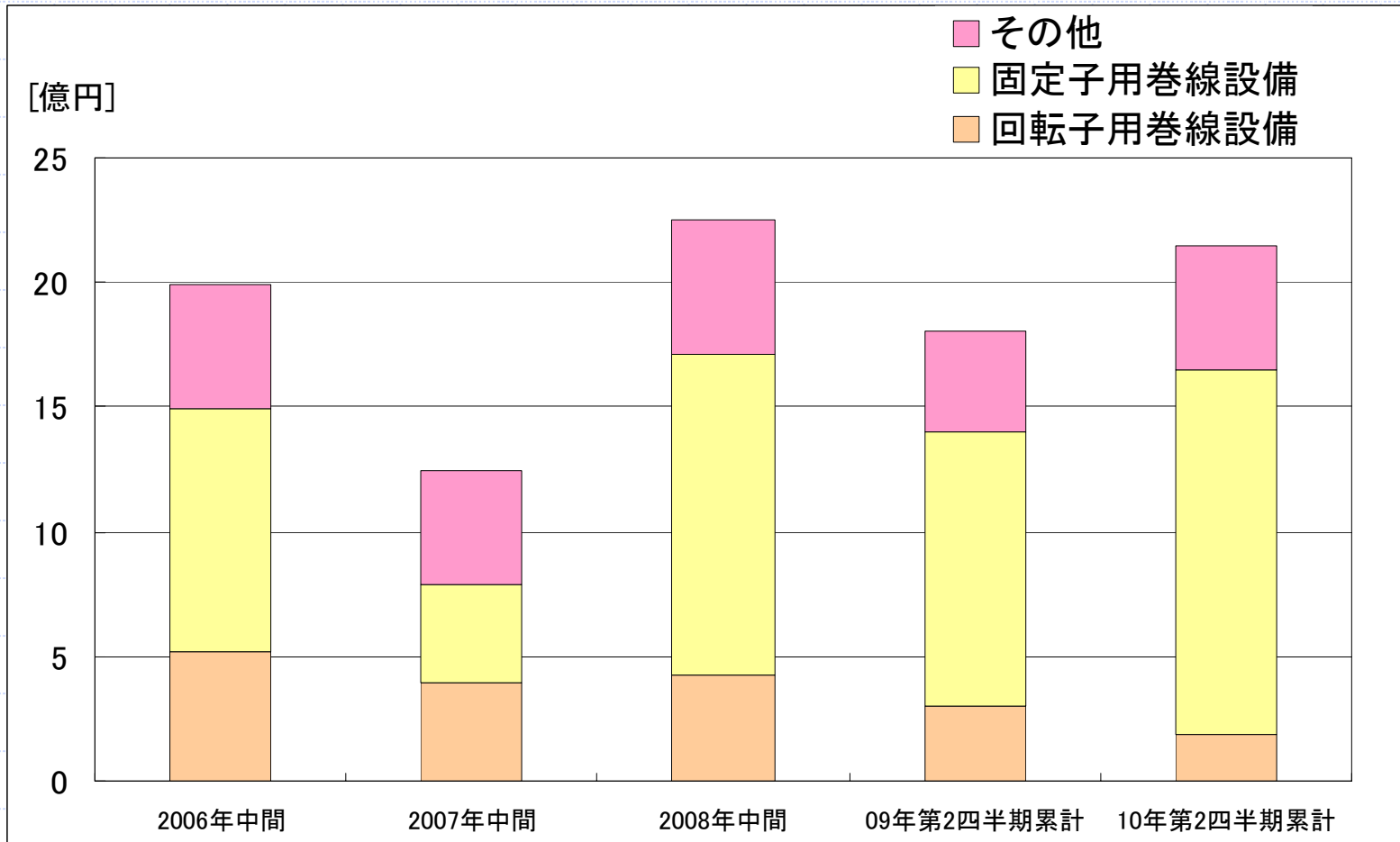
③ 連結業績の概要

- ・売上高2,143百万円(前年同期比18.8%増)
- ・売上高の増加、原価率の改善、年金制度移行に伴う退職給付費用減額により
営業利益 344百万円(前年同期比230.2%増)
経常利益 358百万円(前年同期比195.3%増)
四半期純利益 182百万円(前年同期比209.0%増)

経営指標等の推移(連結)

	2006年中間	2007年中間	2008年中間	2009年第2 四半期累計	2010年第2 四半期累計
売上高 (百万円)	1,996	1,246	2,253	1,804	2,143
経常利益 (百万円)	142	99	454	121	358
中間純利益 (百万円)	112	49	146	59	182
純資産額 (百万円)	6,805	6,856	6,989	7,075	7,173
総資産額 (百万円)	8,102	8,080	8,965	8,205	9,353
1株当たり純資産 (円)	1,114	1,163	1,186	1,201	1,225
1株当たり四半期・ 中間純利益 (円)	17.81	8.37	24.79	10.03	31.03
売上高経常利益率 (%)	7.1	8.0	20.2	6.7	16.7

製品別売上高推移(連結)



業績推移(連結)

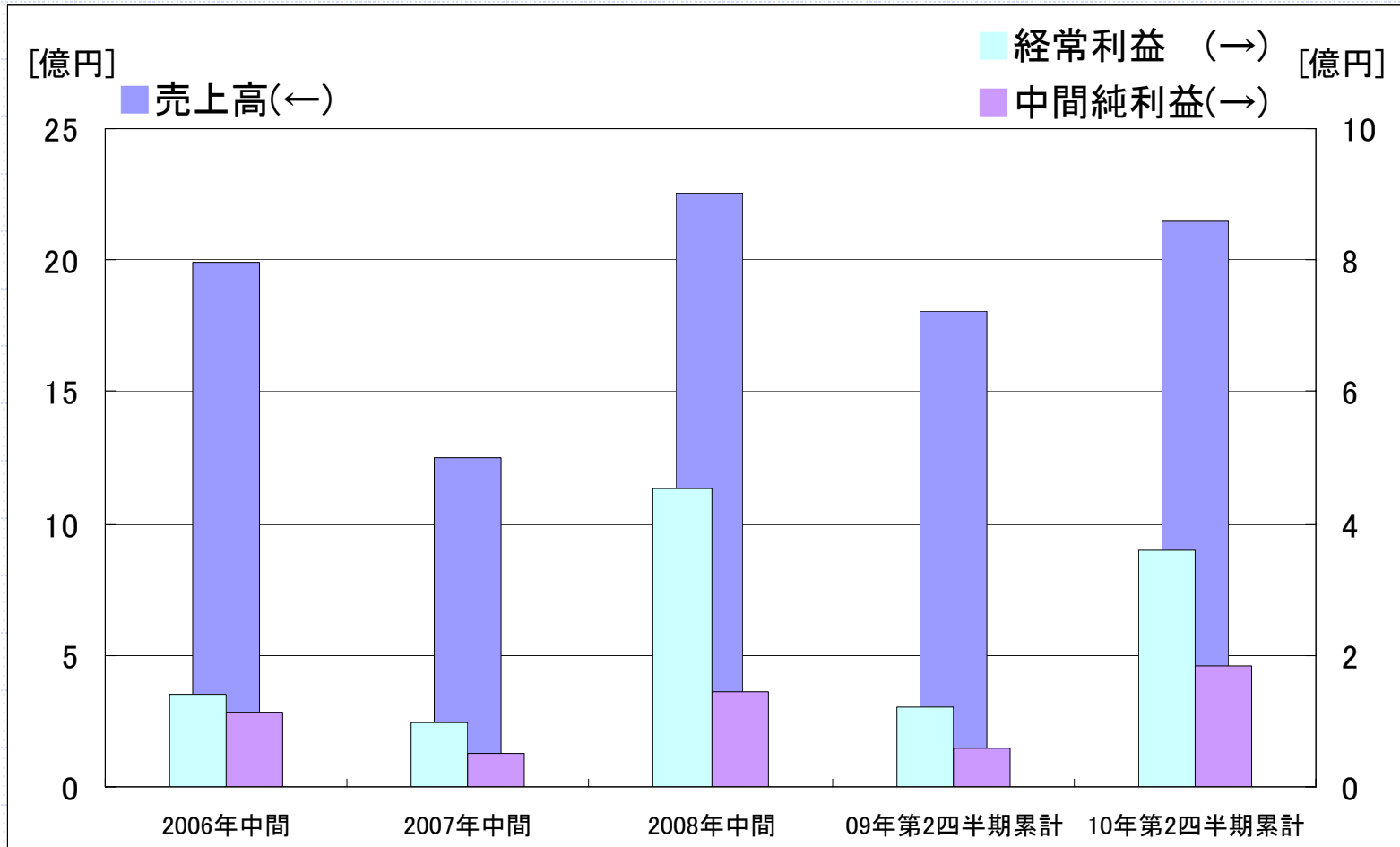
2006年：モーター製造業界の設備投資鈍化、原価率の悪化

2007年：モーター製造業界の設備投資低調の影響

2008年：土地の減損損失1.14億円を計上

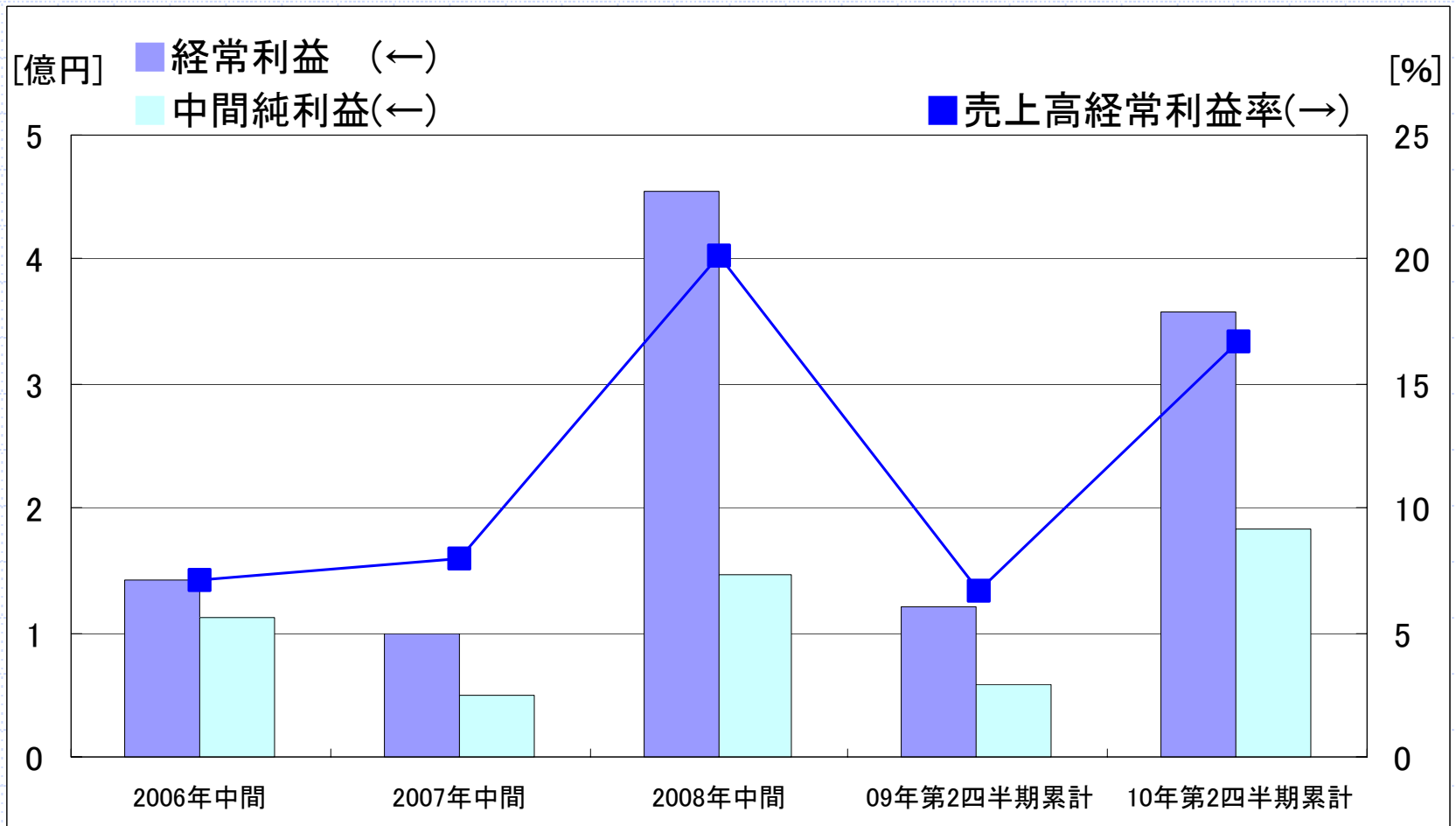
2009年：開発案件の売上、売上の未達、棚卸資産評価損0.1億円を計上

2010年：売上高の増加、原価率の改善、年金制度移行に伴う退職給付費用減額

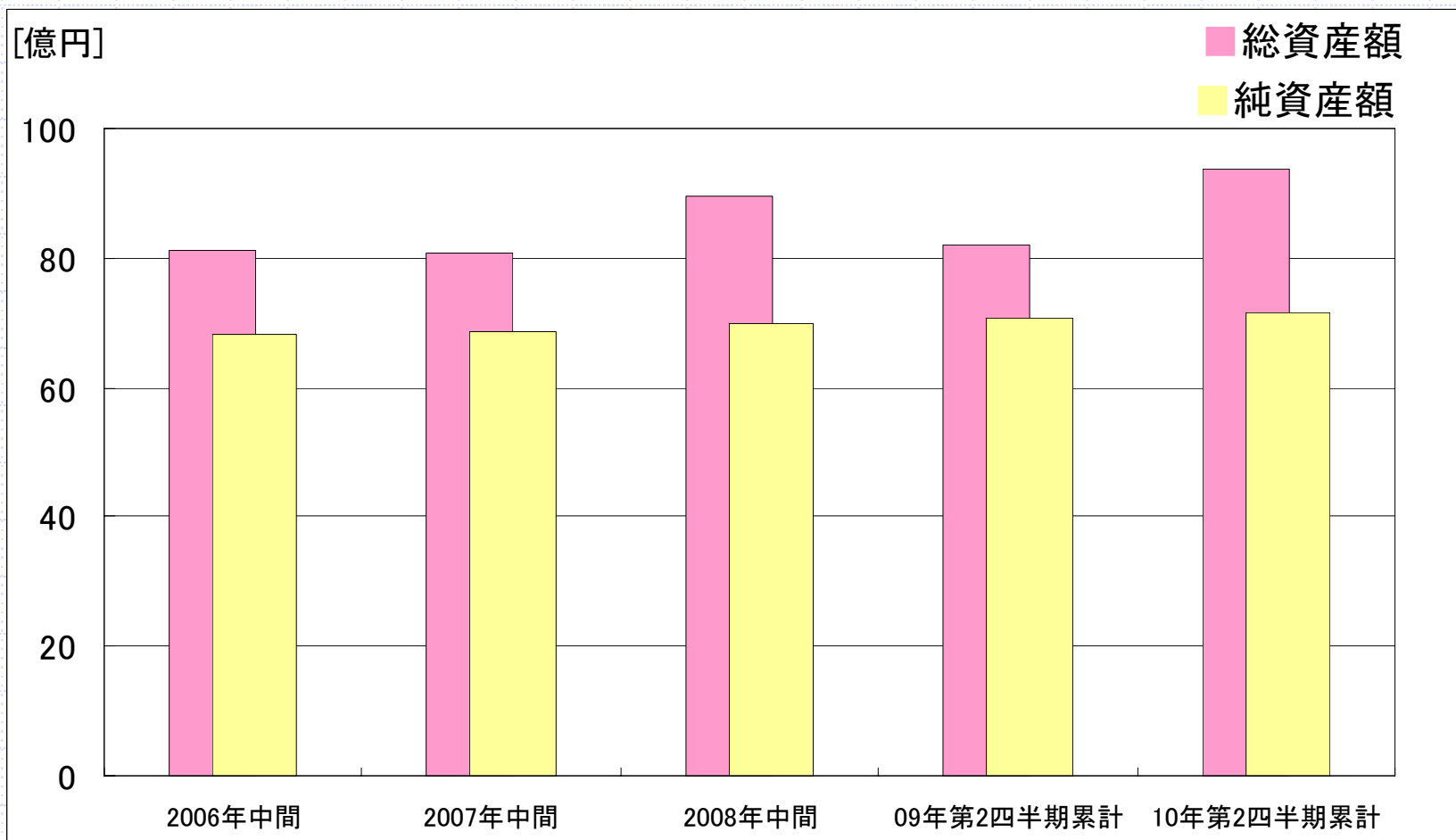


經常利益・中間純利益

・売上高經常利益率(連結)

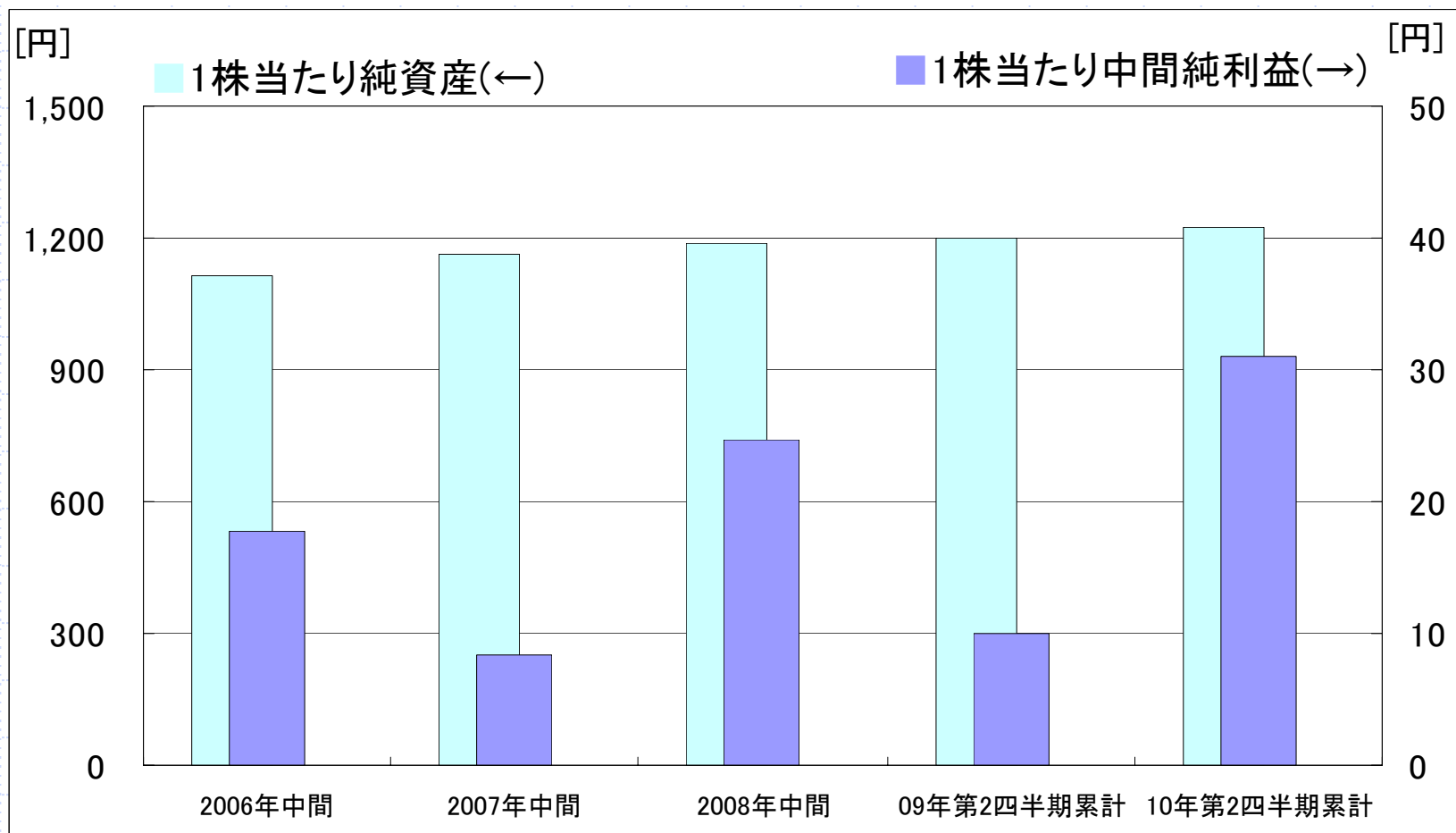


総資産額・純資産額(連結)

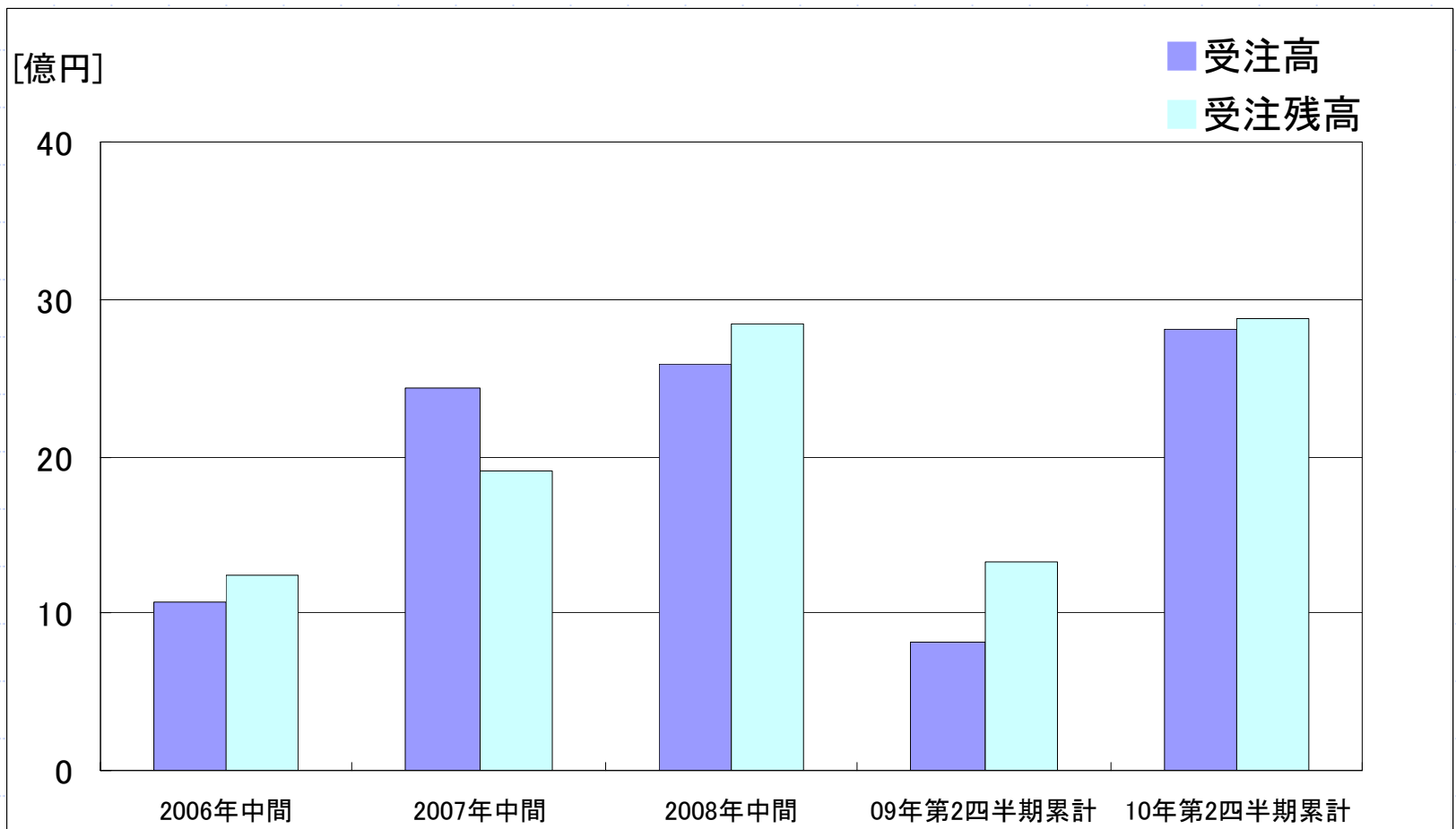


1株当たり純資産額

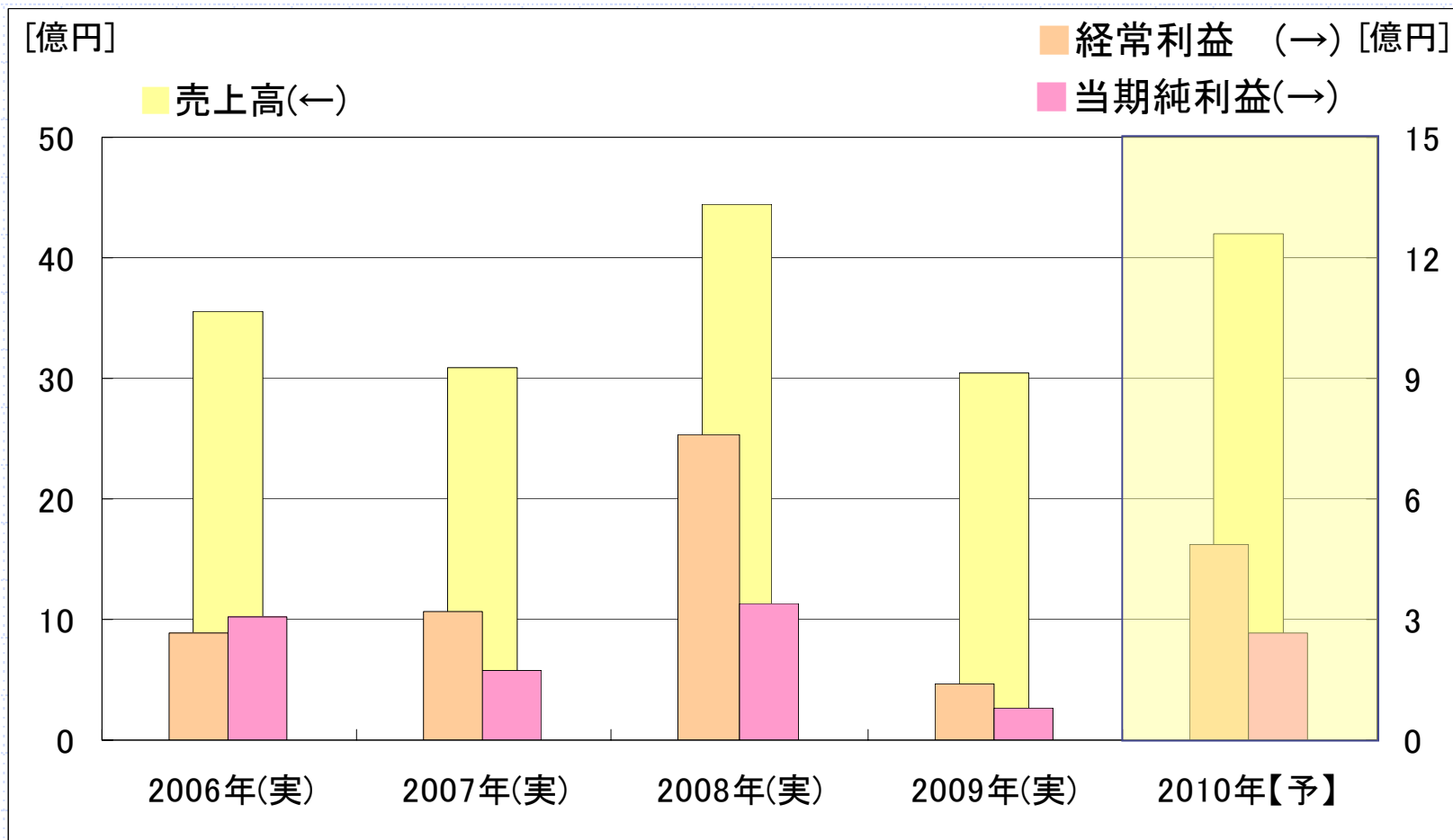
・ 1株当たり中間純利益(連結)



受注動向(連結)



通期業績予想(連結)



決算説明資料について

本資料に記載されている業績予想等については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社グループが判断したものでありますが、今後の様々な要因の変化により、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することがあります。

従いまして、将来の業績等につきましては、実際の業績等とは異なる場合がありますのでご了承ください。

株式会社小田原エンジニアリング